



# 若 草

令和7年度 5月号 R7. 5. 1

## 「自分らしく ともに輝く子」

新学期が始まり、約1か月が過ぎようとしています。子供たちは、新しい学年、新しいクラスになり張り切って、そして楽しくしっかりと学校生活を送っています。

芳川北小の子供たちの良いところは、明るく素直なこと、進んで友達とかかわること、やるべきことが分かると真面目に取り組むこと、元気に外遊びをし、各活動に前向きに取り組むこと等が挙げられます。今年度はこれに加え、話す・聞く・書く力、ルールやマナーを大切にす態度、自分の安全や健康を自分で守ろうとする意識、生活や学習の基礎・基本をさらに高めていきたいと考えています。子供たち一人一人の良いところを伸ばし、さらに増やしていけるよう支援・指導をしていきます。そして、自分の力で自分の幸せをつかんでいけるような人生の基盤づくりに貢献できたらと考えています。

芳川北小学校の学校教育目標を令和7年度より「自分らしく ともに輝く子」としました。これは、自分自身のことを知り、自分に合った方法を選び、仲間とともに力を合わせたり、高め合ったりしながら、粘り強く挑戦し続けることを通して、描く夢や未来を実現していこうとする意欲や態度を育てていこうとするものです。昨年度までは「夢に向かって ともに輝く子」でしたが、そこから一歩踏み込んだ目標としています。今年度は子供たち一人一人の「自分らしさ」に重点を置きながら教育活動を進め、『みんなの居場所がある学校』をつくっていきます。子供たちが自分の居場所を見いだせるように、様々なサポートを行っています。

まずは「いじめ対応」です。いじめ対応では、子供の困り感に寄り添うことが大切であると考えます。まずは、いじめが起きないように、未然防止に努めます。もしもいじめが起きてしまったら、学校の「いじめ対策基本方針」に則り、迅速にそして丁寧に対応します。一応の解決が見られても、継続して見守りを行い、再発防止に努めます。ここで大切なことは、困っている子を一人にさせないことです。教師、友達、学校、地域、たくさんの優しさで包み込み、どの子も安心して学校生活を送ることができるようにしていきます。

次に「不登校対応」です。不登校対応では、「今の自分にできること」を子供と一緒に考えることが大切です。今は学校へ行くことを促すべきか、教室には行かないで何ができるかを考えるべきか、その子の今の状況に合わせて支援します。本校は校内学びの教室「ほっとルーム」を開設しています。ほっとルームは、何らかの事情で教室に入れないう子の学校での居場所づくりや教室への復帰支援を目的として設置されています。いつも元気に学校に行けることに越したことはありませんが、学校に行けない、教室に入れないうの子供の困り感に寄り添い、柔軟な対応を心掛けていきます。

このような方針のもと、目の前の子供たちのニーズに気づき、子供たちのために何ができるかを真剣に考え、誠意と思いやりをもって教育活動を進めていきます。

学校の教育活動は、保護者の皆様や地域の皆様の御理解・御協力によって成り立っていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(学校説明会 校長の話)